

# Rセミナー研修会〈夏期〉

バイオプログレッシブの創始者 R. M. リケッツ (1920-2003) は、自身の40年にわたる臨床と研究をとおして、幅広い分野に明るく、自立した思考を駆使できる人材の育成に努めました。Rセミナーでは Ricketts' Bioprogressive を学びます。



講師：新藤 勝之

日本歯科大学卒業(1985)、東京歯科大学矯正歯科学教室卒業後研修過程(1988)「まちの歯ならびクリニック」開設(1988～)、歯学博士

経歴・研究：

一般社団法人 構医研究機構理事  
日本歯科大学 第一解剖学教室にて顎関節の組織学的研究

Dr. RickettsよりBioprogressiveを学ぶ、バイオメカニクスと口腔顔面成長、日本人小児用の顎外牽引、18Kリボンワイヤーの研究開発に従事

最近の出版図書：

「Ricketts' Bioprogressive: An Orthodontic Philosophy for Future Generations」  
ネクストパブリッシング社(2021)

## 【セミナー内容】

### 【7月8日(水)】臨床に飛び込む前に

- ① 受け継がれてきた技能
- ② 顔と歯列の階層構造  
(基礎理解・視診・問診・触診)
- ③ なぜ、セファロ？  
(トレースからプログノーシスまで)
- ④ 是非とも活用したい歯科用CBCTと3D技術
- ⑤ 装置と治療メカニクス

### 【7月9日(木)】

- ⑥ 個性の美しさと歯並び
- ⑦ 治療を計画するためのPPF
- ⑧ メカニカルフロー
- ⑨ 治療中のモニタリング
- ⑩ 多彩な臨床(小児～成人)
- ⑪ 長期保定の具体策
- ⑫ 「我々は何も知らない」という謙虚さ

開催日時 2026年7月8日(水)/9日(木) 9:30～18:00

会場 オートデントラム 3F 会議室  
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-7-15 トグチビル2F

受講費 開業医 70,000円  
医局員 50,000円

●ご用意頂くもの：ノギス(デジタル推奨)

●貸出し：テンプレート、ディバイダー

募集人数 10名

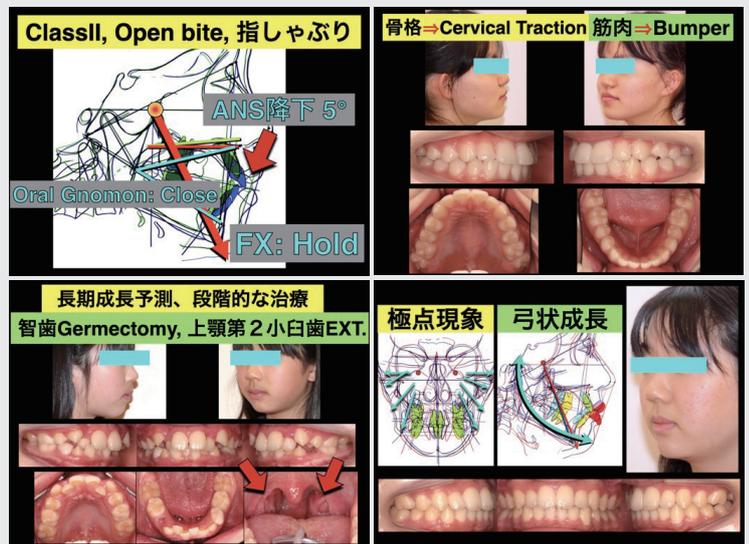
募集人数を超えたお申し込みがありました場合は次回の開催日に振替させていただきます。(お申し込み順) また、最小開催人数(5名)に満たない場合は次回開催の部に順延となります。ご了承のほどお願い致します。

受講費お振込み先：三井住友銀行 人形町支店  
普通1677678  
有限会社オートデントラム 講習会3

- \*ご入金確認後、お申込み完了とさせていただきます。
- \*恐れ入りますがお振込み手数料は各自ご負担願います。
- \*キャンセルは1ヶ月前までとさせていただきます。
- \*ご返金する場合は手数料を差し引いた金額となります。
- \*1ヶ月前までにご入金がない場合は自動的にキャンセルとなります。
- \*お申込みご確認後、実習でご使用になる器材の詳細、会場への地図をお知らせ致します。

7月8日夕方にご参加の先生方と懇親会を行う予定です。  
参加費：5,000円

連絡先：03-5652-3322 担当：武田 / 吉田



下記ご記入のうえFAX、または2次元コードよりお申し込み下さい。

ご診療室名またはお名前		<input type="checkbox"/> 大学医局員の先生は <input checked="" type="checkbox"/> を入れて下さい	
ご住所〒		懇親会	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
TEL	FAX	携帯	
メール		ご出身大学	



## 【セミナー内容】

- Bioprogressiveの創始者  
(医療の進歩は人の出会いから)
- Ricketts の臨床・研究業績・一般書  
(専門家こそ博学者たるべし)
- アングルとBioprogressive  
(連綿と培われてきた思想)
- 先人の足跡・技術と材料の進歩  
(誇りを抱いた人々)
- 生物学原理は転ばぬ先の杖  
(私たちは恵まれすぎかも)
- 構造と機能・相対運動と撓り  
(私たちは重力で進化した)
- 神経と脈管の脆弱性  
(成長と動きを知るために)
- 顔と歯列の階層性  
(指針を見誤らない)
- 手ごわい遺伝・筋肉・呼吸  
(微弱力 × 時間 = 大きな効果)
- 頸椎・頭蓋基底  
(顔のベースは置性系)
- 下顎複合体 Lower Jaw Complex  
(運動は吊性系)
- 上顎複合体 Maxillary Complex  
(両者の移行領域)
- 上顎複合体の臨床要点  
(特徴がまったく異なる上下の顎)
- クールな判断にはセファログラム  
(気づきの蓄積)
- 顔の成長中心はPt点  
(なぜ思考の指標が必要だったか)
- 3大基準面はリケッツ分析の基本  
(Ba-N, FH plane, PTVから)
- 正貌セファロの解釈  
(ひそんでいる豊かな情報)
- VTGは最強のプログノーシス  
(先が見えれば誰しも安心)
- 同時に考えるVTGとメカニカルフロー  
(具体的な手順を練る)
- VTGの実習  
(治療開始にはじまる終了過程)
- 歯科用CBCTと便利な周辺機器  
(新鮮な創意工夫)
- Ricketts' Root Rating Scaleの読み方  
(適正な圧力を知る)
- 装置と活性化を分けて考える  
(ApplianceとModalityのちがいがい)
- シンプルな下地づくり  
(バンド型装置がもつ魅力)
- バンドの事前準備  
(Pre-adjusted, Pre-welding)
- Quad helix  
(用途、ヘリカル設計、デザインとワイヤーサイズ)
- 3D-リングル  
(用途、デザインとワイヤーサイズ)
- U-A  
(使いこなそうBasic, Contraction, Torquing, Advance)
- セクショナルワイヤー  
(無限に広がる活用)
- ヘッドギア  
(中顔面の成長コントロール)
- フェイシャルマスク  
(生き生きした表情を醸し出す)
- リップバンパーとLooped U-A  
(下唇圧力を読み解く)
- ときにはTAD  
(究極の皮質固定源を使いこなす)
- 保定処置は長いお付き合い  
(患者一術者の幸せ)
- 舌側保定ワイヤー  
(下顎小白歯間、犬歯間、上顎切歯)
- アライナー型リテーナー  
(段階的な保定は幸せをよぶ)
- 症例検討  
(10症例)
- ノーマン・カインズの贈り物  
(大切なのはモチベーション)

